

第5回 焼津未来創生総合戦略推進会議 議事録

- 1 日時 平成27年10月30日（金）10：00～11：00
- 2 会場 焼津市市役所会議棟101号室
- 3 出席委員 日詰一幸会長、山田美津子委員、川口良子委員、白石一二郎委員
増田充邦委員、岡村美根子委員、下村信仁委員、門澤奈々委員
岩石ちさと委員、南條和義委員、田形淳委員、寺田好秀委員
宮崎浩一委員、土肥潤也委員、鈴木智子委員、山口智美委員
- 4 事務局 杉本未来創造部長、飯塚政策企画課長、山下政策企画担当係長
藤野行政経営担当係長、新村主査

（日詰会長）

- ・皆様おはようございます。
- ・前回は10月1日ということで、1カ月ほど前にこの会議が行われましたけれども、皆様には2回以降、3回にわたりまして、いろいろな角度から総合戦略についてご検討いただきまして、大変ありがとうございました。
- ・前回、皆様からいただきましたご意見等を盛り込んだ形で今日、皆様のお手元に冊子が出来上がっております。
- ・今日でほぼ、この会議の議論は終わるということになります。これからは、この内容に基づいて進めていくという段階に入っていくわけでございますけれども、そういう意味ではもう一度内容をご確認いただきまして、ぜひ皆様のそれぞれのお立場の中で、この総合戦略が実現できるようにお力添えいただければと思っております。それでは、議事に入ります。

議題1 「焼津未来創生総合戦略について」

（日詰会長）

- ・議題の1つ目「焼津未来創生総合戦略について」事務局から説明いただきたいと思います。

（事務局）

- ・それでは、議題の1「焼津未来創生総合戦略について」ご説明します。
- ・「次第」の2ページ目をご覧くださいと思います。

- ・それから、もう1つA3の縦になっている「焼津未来創生総合戦略（案）の意見（要旨）に対する考え方」もご覧ください。主にA3で説明をいたします。よろしくお願ひします。
- ・前回、10月1日に「焼津未来創生総合戦略（案）」として皆様にお示しをいたしまして、多くのご意見をいただきました。
- ・ご意見を踏まえまして、10月6日から10月20日までパブリックコメントを行い、広く市民の皆様からの意見募集等を行っております。その内容を説明いたします。
- ・前回の会議の報告も含めてということでナンバー1からナンバー21までございます。
- ・10月1日の会議でのご意見の主なものをこちらに載せており、それに対する市の考え方ということで整理をしておりますので、ご覧ください。
- ・全部説明すると時間がかかるものですから、主なものをピックアップしながら説明をいたします。
- ・まず、1番目でございます重要業績評価指標（KPI）の設定について、基本的な考え方をというご質問がありました。
- ・考え方としまして、平成23年度より第5次焼津市総合計画において行政評価を用いて進行管理をしております。それぞれの事務事業において成果指標として数値目標を設定しておりますので、原則として既存の事務事業マネジメントシートの成果指標を活かしながら数値目標を設定しているということです。
- ・次に、2番目をご覧ください。5つの基本目標についてです。
- ・2060年に人口12万人という意欲的な目標であるため、今後力を入れる部分をどこにしていくのか。5つの基本目標を掲げておりますが、総合戦略は全国でも同じように作っているものですので、地域の独自性を出すことで魅力を伝えることができると思ひます。市としてどの分野に力を入れていましてかというご意見であります。
- ・これにつきましては、5つの項目どれも重要であります。5つの目標が連動して組み立てられておりますけれども、まずは雇用の分野が肝になってくると考えております。現状は、若者世代が首都圏に集中して戻ってこない状況でございますので、産業分野の雇用創出を行いながら、若者に魅力のある働く場を作っていくことが必要です。この分野で市のシティセールス等を積極的に展開しながら、子育て環境を整えていくとともに、若者の集まってくるような魅力のあるまちづくりを進めていきたいと思ひます。
- ・次に3番目でございます、具体的施策のKPIについてです。
- ・アウトカムとアウトプットが混在しているということで、整理をした方がいいのではないかとご意見がございました。
- ・我々も内部で検討しましたが、先ほどの1番でもお答えをさせてもらっているとおひ、基本的に事務事業マネジメントシートの成果指標の数値目標等を用いて設定している部分もあります。そういった中で、アウトカム指標が設定できない部分につきましてはアウトプット指標での対応ということで検討をしております。原則は総合計

画の数値目標がベースということで考えていきたいということで、いろいろ調整いたしました。結果として前回お示しした形で数値目標として設定をしていくことで考えております。

- ・次に5番、ふるさと納税制度についてです。
- ・数値目標60億円としておりますが、返礼品等、市内の品物等であるならば、この制度を活用して産業の活性化が図れると思いますというご意見でございます。
- ・返礼品数につきましては全国1位でございます。現在、450品目です。産業振興の観点からも、市内の企業で作った商品を送っています。地域経済の循環を考えれば、これも大きな施策であると考えております。
- ・この間新聞にも掲載されておりましたが、全国の今年度上半期のふるさと納税寄付額、焼津市は全国で第7位でございます。これからも品目等も増やしながらか、地域の経済循環も考えて展開していきたいと考えております。
- ・次は、9番、若者・女性への就労支援でございます。
- ・若者や女性の就労、交流機会の創出など、具体的な事業が必要であると考えますが、現時点で決まっているものはありますか、ということでございます。
- ・こちらについては、戦略の中で若者就職支援事業として、大きな枠組みで示しております。今後、詳細な事業の組み立てを、平成28年度の予算編成も踏まえて考えていきたいと思っております。国の交付金等の関係もありまして、いろいろな事業を検討していく予定ですので、現段階では若者就職支援事業ということで表現をしております。
- ・次に10番、私立学校の誘致についてです。
- ・市内に、早稲田や慶応など名前の知れた大学と提携をして、私立小中学校を誘致していくことを考えていただきたい、ということです。
- ・企業誘致は、製造業だけでなく、教育機関などの誘致についても積極的に考えていきたいと思っております。まずは市のシティセールスということで、今後は組織としてセールス活動を行っていきけるような体制を構築していきたいと思っております。
- ・次に11番、空き家の利活用についてです。
- ・移住を前提として改修を行うのか、それともお試しとして移住する事業を考えるのかどうか、ということです。
- ・市内、空き家が今後増加していくことは、総合戦略の中でもお示しをしておりますが、まずは市内の状況調査をしていきたいと思っております。こちらは次年度の予算で全体的な調査をかけていきたいという検討をしているところであります。全体を把握した中で、利活用できる空き家、あるいは、所有者がいらっしやって、その方が利活用してもいいよというものにつきましては、市外からの移住者等とのマッチングも含め、お試しでの施策も考えていけたらと思っております。
- ・次に13番、観光の人づくりについてです。
- ・観光施策で重要なものは、おもてなしをする人づくりを行うことである、人づくり

- がないと観光はうまくいかないということで、人材づくりでのご意見がありました。
- こちらは、基本目標の2「新しい人の流れをつくる」として、施策の中で、おもてなし戦略を進めていきたいと考えております。新たな地域資源の掘り起こしや、そうしたものを案内できる案内体制の整備も考えてございます。
 - 次に14番、市の魅力の映像発信についてです。
 - 映像作製数が平成31年度までに100本を目標としておりますが、発信方法をYouTubeにした理由は何か。また、評価指標を映像閲覧数にすることはできないか、という意見でございます。
 - 今年度、プロモーション映像の作製をしております、10本くらいの映像を業者制作で実施しておりますが、同時に、職員、市民向けの映像発信の講習会を行っております。この取り組みの中で技術を習得して、今後、映像を作製しながら焼津の魅力を発信していくということを考えていますので、これらが100本になるような取り組みをしていきたい。現状はYouTube上で投稿しているものですから施策にはそういう形で記載をしておりますが、当然その他の媒体についても研究していきたいと考えております。
 - 評価指標につきましては、「次第」の2ページをご覧ください。
 - ここの部分に関しましてはアウトカムという形になっておりますので、評価指標を閲覧数ということで修正し、最終的には30万回に設定したらどうかということで考えております。
 - 次に、15番、多言語での情報発信についてです。
 - インバウンド確保に向けて、プロブloggerに記事を書いてもらい、海外の観光客の誘致をということですがけれども、Wi-Fi環境での多言語展開による、まちの情報発信などを検討していきたいと思っております。
 - それから、A3の資料の次ページをご覧ください。
 - 22番から25番までは、パブリックコメントでの市民意見の結果でございます。4件の意見がございました。順番に説明をいたします。
 - まず、22番です。農業の経営支援について、農業地域の生産基盤強化事業として、美しい田園風景を守るため除草や防草対策を要望します、ということであります。
 - 考え方としては、農業の経営支援について、総合戦略の中では経営を改善するための支援として、産学官連携による農作物の高付加価値化事業であったり、最先端技術を活用した農業支援等、こういった事業を予定しております。
 - ご意見のあった防草対策につきましては、通常の前年度の枠組みの中で考えていくものとして、この件につきましては要望として承りますということで回答をしたいと考えております。
 - 次に23番、産業観光施設のルート化について、新東名インター付近に観光バスの基点を設けて、特産品等の売店を設置したらどうか。それから、400年前の安政地震の津波の痕跡の残る古民家を市で買い取って、さかなセンター等も含めて、空港を利

- 用した外国人観光客の誘致やルート化を図ってはどうか、ということでございます。
- それから、2番につきましては、有休養鰻池が現存しているので、海洋深層水を使いチョウザメ等を飼育し、観光に活用してはどうか。
 - 3点目として、大井川地区には富士信仰による富士塚が過去2カ所あって、ある程度場所が推定できるものですから、そこに看板を付けてはどうか、ということでございます。
 - 4点目としては、平和教育を充実するため、不発爆弾事故等の看板を設置したらどうか、ということでございます。
 - 考え方としては、産業観光について今年度よりすでに、市内の工場や生産現場等を案内できるように整備をする事業を行っております。
 - 併せて、案内人等の体制も今年度、取り組みを始めておるところでございます。
 - ご意見につきましては、今後の産業観光及び新たな地域の観光資源としての要素が入っておりますので、事業を進めていく上での参考として承っていきたいと考えています。
 - 次に24番、多子世帯に優しい地域づくりです。
 - 見通しの悪い通学路について、県道の部分ですので、市より県に拡幅の要望等をしてほしい、ということでございます。
 - こちらは、多子世帯に優しい地域づくりとして、子育て分野の施策のことになりますが、戦略内での多子世帯に優しい地域づくりについては、地域ぐるみで多子世帯を応援していく取り組みを考えていくということで、ご意見のあった内容につきましては交通安全施策への要望として承るということで考えてございます。
 - 次に25番、自治体間の連携の推進についてです。近隣都市圏域との連携の推進を図る上で、静鉄ジャストラインの路線バス停留所を大井川福祉センター付近に設けて、乗り継ぎのネットワーク機能を充実したらどうか、ということでございます。
 - 回答としては、都市機能の効率化を進める上で、公共交通施策は重要な要素であります。今後、人口減少が進んでいく中で、適応できる仕組みを考えていく必要があることから、効率的な都市にするための施策として、地域連携の部分の要望になっています。
 - ご意見のあったバス停の増設につきましては、現状や必要性を含めて、今現在あります地域公共交通会議の中で検討していきたいと考えております。
 - 以上、皆様のご意見とパブリックコメントのご意見も踏まえまして、修正を「次第」の2ページに記載しています。
 - 97ページの施策3②です。先ほど申し上げましたように、映像の閲覧数を修正しています。
 - それから、94ページ以降、総合戦略第3章の部分、KPIの設定の表現の統一というお話がありましたので、単年度の目標がある場合には「/年」の記載をしまして、平成31年までの数値目標の場合は「H31まで」と表現を整理しまして、統一をしております。

ます。

- ・大枠での修正はございませんでしたので、過日、10月23日、焼津市の未来創生本部会議がございました。市長が本部長で会議を開催しまして、皆様のご意見、それからパブコメのご意見を踏まえて内容を調整しまして、10月23日に総合戦略ということで策定をしますということで決定をしております。
- ・以上、議題1についての説明となります。

(日詰会長)

- ・ただいま事務局から、A3判の前回の委員の皆様からのご意見への対応と、それから10月20日まで行なわれましたパブリックコメントに伴う修正等について説明をいただきましたが、この内容について皆様からご意見がありましたら、あるいはまたご質問がありましたらお願いします。

(川口委員)

- ・A3縦の「意見に対する考え方」の説明をしていただいた中に、10番のものに対してのお答えとして、シティセールスということで、今後の組織としてセールス活動を行っていきけるような体制を整備していきたいという説明があったと思うのですが、この「組織」というのは行政内の組織のことなのか、もっと広い意味で民間の団体とかそういった方も参加するような組織なのか。この辺りのイメージを教えてくださいと思います。

(事務局)

- ・10番につきましては、まずは庁内組織として検討していきたいと考えております。
- ・行く行くは、シティプロモーションの映像発信とか、やいづフィルムスクールとかを立ち上げておりますので、その中で市職員、あるいは民間の方々も含めて全体的に進めていければというのが理想ですので、その辺も含め検討していきたいと思っております。

(鈴木委員)

- ・A3判の「意見に対する考え方」の21番ですけれども、戦略のパッケージでのPRも必要だろうという意見だったのですが、回答いただいているところで、例として焼津応援団などに登録いただいた方へ市の魅力を伝えるというお話だったのですが、この応援団というのがどういうものなのかお聞きしたいです。
- ・あと、すでに焼津に関心を持っている層に一斉にいろいろな情報を発信するのも大事だと思うのですが、そうじゃない層への訴求も大事かなと思ったのですが、その辺り詳しく教えていただけたらと思います。

(事務局)

- ただいまのご質問について、地方創生先行型の部分で、市の情報発信を含むシステム構築をしております。主には、U・Iターン、移住・定住として、市の魅力を総合的に発信するポータルサイト、ウェブサイトを構築し、様々な情報を皆様に提供するシステムを考えています。
- その中でまずは、応援団という形で書いておりますが、U・Iターンとしては、まずは静岡県内の高校を卒業して、首都圏とか大学に行く方々に登録をしていただいて、その方々に積極的に、待ちの姿勢ではなく情報を発信していくようなシステム構築です。
- また、応援団はこれから構築をいたしますが、まず市内の応援団、それから首都圏等で当市の出身の方とか当市を応援したいという方々の組織を結成し、首都圏でのPRも積極的にしていくという形でございます。
- また、SNSとかで情報発信ができない方々もいらっしゃいますので、そういう方々についてもSNSとかインターネットとかの勉強会もやっていますし、また、ペーパーでの情報提供は主には市の広報でやっていますが、そういったところで関連付けて様々な形で情報発信をしていきたいと考えています。とりあえず若者世代がターゲットになっていますが、それ以外の方にも積極的に情報発信をしたいという、全体のシステム構築をしているところであります。

(鈴木委員)

- 重ねてですが、ポータルサイトとかを作られるということだったのですけれども、そこにアクセスするためのアイデアがあれば。たとえば、首都圏に行っている高校卒の方に登録してもらおうということですが、どこで登録する人を確保するのかという辺りで、ポータルサイトが出来ても、そこにアクセスしなるとなかなか広がらないかなと思うのですけれど。これからの部分もあるとは思うのですけれど。

(事務局)

- 今年度はデータベースの構築という形で、主に高校卒業の方、それから、今の東京の学生さん。その方々にはまず、成人式で帰ってきていただいたときに広報して登録していただく。まずそこから始めるという形でございます。
- また、行く行くは、首都圏の静岡県人会とか、焼津会とか、各大学に県人会がございいますので、その辺を主に情報収集と積極的にPRをしまして、首都圏を中心とした焼津応援団を構成して、そういったところから広げていくという形で、まずはデータベースに登録していただける方をどんどん増やしていくという形でございます。
- また、県でも同じようなサイトがありますので、そういったサイトと積極的にリンクをしながら進めていきたいと考えています。

(日詰会長)

- ・よろしいでしょうか。ほかにどうでしょうか。

(土肥委員)

- ・パブリックコメントを受けての修正ですが、YouTubeの再生回数のKPIを30万回という形に修正されたのですけれども、3,000回という1本当たりの再生回数の設定の理由みたいなのはあるのでしょうか。

(事務局)

- ・現状、すでに3本がYouTube上に掲載しておりまして、平均的に1映像当たり今、1,000くらいです。1,000回くらいの映像閲覧数になっております。
- ・これから5年間かけて100本にしていくものですから、現状1,000のものがこれから増えてくるのですが、5年後までに作っていくものですから、今のものは5年後にはもしかしたら5,000、あるいは10,000であるというふうになるのですが、5年後に作るものはそれほど増えていかないかなと思いますので、その部分をベースにおおむね、1本当たり3,000回くらいになるのではないかとということで、平均しますとそういう形で考えております。
- ・決してこれは多い数字ではないと思うのですね。いろいろなものを見ますと10,000以上というものは大きな閲覧数になっておりますので、そこは目指したいと思うのですが、全体を考えると100本作っていく中で、これから5年後に作るものもあるし、現在作っているものもあるし、その辺を含めると1本10,000は少し厳しいかなというふうな想定をしておりまして、おおむね3,000回くらいかなという形で予定しております。

(土肥委員)

- ・シティプロモーションの事業予算などをぱらぱらめくっていたのですけれど、動画を作る予算にしてはかなり大きな予算が付いているなという印象を受けたので、動画の発信ということに関しては他市町もかなり力を入れている所はあると思うので、そういう所のKPIとかも参考にしながら、もう少し強めな修正ができるといいのかなと思いました。

(日詰会長)

- ・ありがとうございました。もうちょっとアグレッシブに、ということですが。

(事務局)

- ・今年度648万円、予算が付いてございまして、すでに執行しています。動画作製については現状、12本のKPIということですが、この中には先ほども申しあげましたよう

に、研修の分も含まれているのです。

- そういったこともありまして、動画の撮影だけではなく、職員、あるいは動画を作りたいという市民の皆様に対して、映画を作っている方が講師となって、こういう部分に気をつけて撮影してくださいねとか、これはNGですよとか、そういったものを全部説明しながらやっている部分もありますので、金額的には12本で648万円、少し大きいのではないかと思われるかもしれませんが、そのような事業の組み立てになっています。
- それから、今、1本3,000回という形で設定をしていますが、当然、YouTube上の再生回数を見ている中では、ここよりももう少し上に行ければいいなということがございます。
- ですので、先ほども申しましたように5年間の中で作った100本なものですから、そこも踏まえて全体的に平均するとこのくらいの部分を目標としていけばいいかなと考えているものですから、ご理解いただければと思います。

(日詰会長)

- 今説明いただいた部分については、この後事務局から説明いただいて質疑をしたいと思しますので、この部分について後でまた残しておいていただければと思います。
- ほかにどうでしょうか。よろしいでしょうか。
- それでは、今ちょっと話題に出ている部分がありますので、次第の中にある3ページ以降のことについてということにしたいと思います。
- とりあえず最初の議題は以上とさせていただきます、その後の「その他」の所に入りたいと思います。
- それでは事務局から説明いただきたいと思います。

議題2 「その他」

(事務局)

- 議題2「その他」の説明をいたします。
- 今のお話にもありました3ページ以降をご覧ください。
- 今後の流れにつきまして、少しお話をいたします。
- 総合戦略につきましては、23日の本部会議で、この方向で行きましょうということで決定していますので、推進会議につきましては今後、具体的にPDCAサイクルを回す中での検証や、ご意見を伺う形で考えていきたいと思います。
- 次第を見ていただくと分かる通り、次回の会議日程を下に示しております。
- 次回は3月頃を予定しておりますけれども、内容を含めて3ページ以降で説明をしていきます。
- まず、今年度、地方創生の国の交付金を使った事業ということでいくつか事業を進めているものがございますので、少しその辺の枠組みを含めてお話をしていきます。

- ・まず、3ページの国からの交付金の事業一覧です。
- ・地方創生の国からの交付決定額として、平成26年度の繰越事業、26年度の予算措置をしたのですが、今年度に繰り越しして事業を実施しているもの。それが6,588万3,000円ございます。
- ・それから、今年度に補正予算で国からの地方創生（上乘せ）ということで付けているものが1,000万円ございます。交付予定が11月予定ですので、それ以降の執行になります。
- ・合計しますと当市としては7,588万3,000円ということでございます。
- ・2番目として、交付金の対象事業ということで（1）地方創生（先行型）。この（1）につきましては6,588万3,000円の枠組みの中の事業の組み立てになっていますので、ご承知置きください。
- ・まず、今回策定した総合戦略の策定事業です。1,000万円でございます。
- ・それから2番目として、ビジネスマッチング機会創出事業というものがあります。126万1,000円ということで、新たな販路の開拓と焼津の地域資源の発信を目的に、首都圏での商談会開催をしていくということでして、基本目標では雇用の分野の事業の組み立てになっています。
- ・商談参加事業所をKPIとして、今年度の指標ですけれども15件。それから、参加事業所の商談件数を各5件以上という設定をしまして、事業を進めています。
- ・3番目として、焼津水産物の活用をした学校給食メニューの開発ということを考えています。
- ・予算額は150万円です。
- ・主要な地域資源のひとつである水産物や水産加工品を利用した学校給食メニューを作って、地産地消、魚食普及の推進を図っていく。また、子どもたちの食育の推進とか地域の愛着にもつながっていくものですから、こういったものを開発して学校給食のメニューとして示していきたいということを考えています。
- ・こちら雇用の分野として整理をしまして、開発する給食メニューの数を3品くらいということなんです。
- ・現在、市の担当部局と学校給食の関係者で話し合いを行いながら、こういったメニューにしていくか。当然、カロリー等の問題もございます。その辺のバランスも含めながらメニューの開発をしているところでございます。
- ・次に4番目です。地産地消推進・多品目栽培スペシャリスト育成事業ということで、194万4,000円でございます。
- ・地域消費者向けの野菜生産の担い手確保を図るとともに、直売所等地域消費者向けの生産を主軸に置こうとする農家の育成や確保を支援するというところでございます。
- ・新たな農作物の生産・出荷に取り組み中の農家数3件。焼津市への新規就農について具体的な相談に入っている者の数3件ということで、こちらも雇用の分野の事業として組み立てをしています。

- ・次に5番目です。U・Iターン推進事業として2,000万円の予算です。
- ・先ほども説明しました、若者世代の移住・定住施策として学生等のU・Iターンの就職をサポートするために、雇用情報や就職情報などのデータ整備と、発信のためのシステムの構築を行います。
- ・こちらは、移住・定住・交流の分野になります。
- ・システムの登録者数を3,000人、新規情報登録企業数を20社ということを目標に現在、システムの構築を進めているところです。
- ・6番目です。焼津市プロモーション動画作製事業です。こちらは、先ほど委員からもお話があった内容でございます。
- ・焼津市の魅力を発信するPR映像を作製し、国内外に発信するという事で、移住・定住・交流分野になりまして、PR動画作製数12本ということでKPIの設定をしている状況です。
- ・7番目、産業観光魅力創出事業。399万8,000円でございます。
- ・市内の工場を観光資源として捉え、生産現場の見学や体験等を通じた交流の促進と地域産業の活性化を図るということで、工場等を観光資源にできるような整備と、案内人の体制を作っていくということで、それも観光資源にしていこうという取り組みでございます。
- ・移住・定住・交流の分野で、産業観光整備事業の取り組み事業所数を3件ということで現在、設定をして進めているところでございます。
- ・次に8番目、焼津「新」観光みやげ開発事業ということで170万円です。
- ・市内の観光拠点や地域資源、歴史的人物をテーマに、焼津市の新たなお土産を作っていくということで、新商品の開発や、販路拡大等を支援していくということでございまして、移住・定住・交流分野です。
- ・新しいお土産の開発を5件として設定をしています。
- ・次に9番目、さかなセンターリニューアルの基本構想策定支援ということで400万円です。
- ・さかなセンターがオープン後30年を迎えています。老朽化も見られている状況でありまして、リニューアルに関する基本的な構想を作っていくということへの財政的な支援です。
- ・基本構想等の策定1件ということで、移住・定住・交流分野として整理をしています。
- ・次に、出会い・結婚サポート事業、1,000万円です。
- ・市内の企業や団体に勤務する未婚の男女を中心に、異性との付き合い方やコミュニケーション力等のスキルアップの講座を開催し、異業種交流の場ということ。子育て分野になります。
- ・スキル等が身についた方の割合、参加者数の80%以上ということでして、カップル誕生数が10組ということKPIにしています。
- ・先週の日曜日に西焼津に講座の後、4男女40人ずつ集まって、婚活パーティーを実施

しました。最終的に10組くらいカップルができたということです。

- ・次に11番目、静岡福祉大学連携事業ということで、500万円です。
- ・地域社会が抱える様々な福祉課題を解決するために、学官連携で市民対象の講座や子育て講演会、また、駅前にサテライト・キャンパスを開設するための支援を行っていくということでして、基本目標としては若者との共創になります。
- ・子育てイベントへの参加者数1,000人、まちなか教室の参加者数200人ということで、こちらも10月1日に駅前通りに福祉大のサテライト・キャンパスということで、通称「駅キャン」の名称でキャンパスを作っています。それを核にして、駅前通りの活性化、あるいは、学生の皆様がそこに集まってくることによってにぎわいを創出するという含め、併せて福祉課題を解決するための取り組みということでございます。
- ・以上11事業が先行型の基礎交付部分、平成26年度からの繰越事業ということになります。
- ・それから、次のページ(2)として地方創生先行型(上乘せ分)ということで、追加交付のものです。
- ・3つの事業で組み立てをしています。
- ・まず1番目、焼津特産品PR事業として、ふるさと納税のPR。主に新聞・雑誌とその他媒体に広告等の掲出をし、全国的に焼津の魅力を知ってもらうというものです。
- ・こちら雇用の分野として、数値目標を設定しています。ふるさと納税の寄付額が8億円ということでKPIの設定をしています。
- ・2番目、創業支援事業ということで、250万円です。
- ・専門家による創業支援セミナーと、ビジネス提案等のコンテストを開催しまして、新たなビジネスの創出を図っていくということで、こちらも雇用の分野になります。
- ・創業に向けた取り組みを始めた者として5件ということです。
- ・次に3番目、外国人向け観光ルートの開発事業ということで250万円です。
- ・市内に宿泊の外国人の調査分析を行い、動向を確認した中で、市内の回遊先や、お土産品等の開発の足がかりとして、どのような流れでどの国の方が、来ているのかということを調査しながら、その方々に市内で買い物をしてもらうためにはどのような仕組みにするかということを進めていく、第一歩の調査ということでご理解いただきたいと思っております。こちら移住・定住・交流分野です。
- ・外国人宿泊者数8,600人をKPIとし、まず調査を組んでおります。
- ・今ご説明いたしましたものが、今回の総合戦略の目標別で組み立てをしてみますと、(3)になります。基本目標別の予算額ということで、事業費ベースとして捉えています。
- ・先行型の部分、それから上乘せ部分ということで、それを縦軸にしまして、横軸に基本目標の5つの分野ということで書いてございます。
- ・合計で6,588万3,000円ということになりますが、総合戦略の策定の1,000万円について

ては除いてございます。

- ・こういった事業を本年度、実施をしております。
- ・今現在、平成28年度の予算編成作業を各部局、市の組織の中でこういった展開をしていくのか。当然、総合戦略がベースになってくるものですから、ここに載ってくる目標を達成するための事業を現在、各部局で検討を進めております。
- ・今後の委員の皆様スケジュールとしては、毎年度2回程度の会議開催をお願いしたいと思っています。
- ・3月頃に、次年度の予算が固まってくる段階ですので、関連事業の概要説明をし、それに対して、こういうふうに進めていってほしいとか、そういった意見交換をしていきたいと思っています。
- ・次が6月頃で考えています。
- ・6月は、前年度事業の終了に伴い、ある程度指標の達成率、あるいは目標にどこまでたどり着いたかということが出てくる時期ですので、前年度実績と指標の達成状況の報告をさせてもらいながら、意見をいただければと。この意見を踏まえて、次年度以降の予算編成の参考にさせていただきます。
- ・そのような流れで、2回程度の会議開催を考えています。
- ・以上が今後のスケジュールの関係です。
- ・次に6ページをご覧ください。
- ・10月23日の総合戦略本部会議で市長の決意として、話をしました。その趣旨を2つ掲載しています。
- ・まず1つ目です。当然、5つの基本目標を推進していきますけれども、まずは雇用の分野、それから、結婚・出産・子育ての分野、あとは、若者との共創の分野ということで、この3つの分野をまず重点的に取り組みをすることを考えている状況です。
- ・それから2番目として、基本目標を達成するために、産学官金労言などの各分野の皆様と一致団結して取り組んでいきたい。行政だけで進めていく話ではございませんということで、皆様と協力しながら進めていきたい。
- ・そのために、11月以降、産業界や県内の大学の皆様、それから金融機関の皆様などと連携協定を結びながら、具体的な事業を進める上での実効性の高い仕組みを考えていきたいということです。
- ・連携協定というお話が出ましたので、その下に地方創生にかかる連携協定の考え方について説明をいたします。
- ・時期としまして、11月下旬から12月上旬くらいを予定しています。
- ・締結先案としまして、地方創生のこの会議の皆様をベースに、産学金労言の関係団体で参画いただける団体と協議を進めながら、考えていきたいと思っています。
- ・考え方としては、分野ごとの協定締結ということでなく、まずは地方創生という枠組み、この5つの基本目標の枠組みを達成するための協定として考えていきたい。
- ・他市町では分野ごとに連携協定を締結していく動きがありますけれども、我々とい

- たしましては全体と地方創生の枠組みでまず結ばせていただくことで考えています。
- ・「オール焼津」という枠組みで地方創生全体の連携協定として実施をしたいということでございます。
 - ・次に4番目、スケジュール案としまして、本日が戦略の最終報告ですので、本日以降、委員所属の団体に我々の方でお伺いさせてもらい、内容のお話をさせてもらって、参加意思等の確認をしていきたいと思っております。
 - ・その後、各団体の皆様のトップの方とのスケジュール調整も踏まえ、11月下旬から12月上旬で調整をしていきたいと思っております。
 - ・来月中旬には協定書のおおむねの内容等も、皆様からご意見をいただきながら確定をしていき、調印式の日程調整もしていきたいと思っております。
 - ・理想といたしましては、関係団体のトップの皆様が一堂に会して調印する形とし、調印後に共同で記者会見を行なえば一番いいかなと考えています。まずはこういう形で考えているということでご理解をいただければと思います。
 - ・以上、大きく2つのお話をさせてもらいました。この推進会議の今後のスケジュール、それから、連携協定にかかる市長の決意表明。以上で説明を終わります。

(日詰会長)

- ・お手元の資料の3ページから6ページにかけまして説明いただきましたが、内容につきまして皆様からご質問やご意見がありましたら、お願いいたします。

(田形委員)

- ・全般的なところで意見と要望を2つ。行政としては十分ご理解されているとは思いますが。
- ・まず、ここまでは具体的な施策の部分が多いものですから、そもそものところで立ち返るとやっぱり、人口減少だとか経済の低迷というところが待ったなしの状況ですので、委員のひとりとしては、出生率は特に高い目標だなという考え方を持っていますけれども、やはりここを打開していくためにはこういった取り組みでやっていく必要があろうかと思えます。
- ・ですので、6ページに載っているようなオール焼津という考え方で、行政が中心になって進めていくということについて、非常に期待を持っていきたいと思えます。
- ・要望としましては2点。事業の青写真、今回こういった青写真を作りましたけれども、それとその効果とは食い違いがいろいろ出てくると思えます。PDCAを回していく中でいろいろあると思えますので、その辺はぜひ機動的に対応いただければと思います。
- ・極端に言うとKPIにこだわらず、KPIができたとしても基本目標が達成できなければ意味はないというところがあろうかと思えます。基本目標を達成した上での人口ビジョンの達成。ここがやはり基本であると思えます。

- ・これにどれくらい縛られるのか分かりませんが、具体的なもののだけにこだわらず、ぜひ大きな視点の中でやっていただければということが1点。
- ・それからもう1点、我々は金融関係になりますけれども、関係団体との対応につきましては、ぜひスピード感を持ってやっていただければと思います。
- ・やはり、関係団体の一員として話をしている中で、どうしても行政が中心になろうかと思えます。ここまで大きい施策、ビジョンを示していただくと、これがどういった方向に動いていくかというところも、関係団体としては見ている部分もございませう。また、オール焼津の一員として関係団体も底上げを図るためにいろいろな施策を打っていますけれども、かぶっている部分もありますので、ぜひ方向性を早く示していただけると、効果も大きいのではないかと思います。以上です。

(日詰会長)

- ・ありがとうございました。何か今のご指摘につきましてコメントありますか。

(事務局)

- ・関係団体とスピード感を持ってやっていただきたいということでございます。
- ・まさにそのとおりでして、我々としても総合戦略の中で大きな目標を掲げて、これから実施をしていく。策定が終わったからよかったということではなくて、ここからスタートだということです。当然、今お話ししましたように連携協定を結んでいくというのはありますが、イメージとしてももう少し事務的なレベルでも、我々とか金融機関さん、それから商工会議所さん、そういったいろいろな皆さんと話し合いをしながら、いろいろな問題を当然皆さん持っていると思います。そこで話をすることによって、我々が持っている内容、それからその団体の皆さんが持っている問題とかが、話し合いをしていく中で、解決に向けて進んでいくことが、今後出てくるかなと。
- ・そういったものを積極的に話し合いながら、同じ方向で進んでいくことが理想かなと思っておりますので、スピード感を持って、事務的なレベルでもお互い話し合いをしながら、「こういう問題あるよね」ということをざくばらんに話ができる場を作っていければと思っております。

(日詰会長)

- ・よろしく願いいたします。ほかにどうでしょうか。

(落合アドバイザー)

- ・先月、県でも総合計画評価部会というのがありまして、総合計画に沿っていろいろな事業が進んでいるかということをやったのですが、その中で出てきたのが2点あるのですが。

- ・1点は、アウトプットのKPIは達成しているのに、アウトカムとして効果が現われていないのではないかと。そういうものについて、6項目くらいあったのですけれども、KPIを見直すべきだということで、KPIを見直して、多分来月くらいにまた、総合計画の本部会議、知事が出る会議で見直しという結論になると思います。
- ・そういう形で、毎年毎年しっかり見直しをしていただいて、アウトプット指標がアウトカムに効果がないということになれば、どんどんKPIを見直して、新たな目標を持ってやっていただきたいというのが1点。
- ・もう1つは、その中でも出たのですが、目標をすでに達成した項目が2年間で十数項目あったのですけれども、それについてはさらに上の目標を再設定するという作業をしております。
- ・ということで、ぜひ頑張ってください、2年くらいで目標を達成して、さらに上の目標を再設定するくらいのつもりでやっていただくとありがたいなということで、よろしく願いいたします。

(事務局)

- ・ただいまのそういった活動につきましても参考にさせていただき、焼津市におきましては全体の事務事業、それから施策につきましても毎年度、行政評価という形で実施していきます。
- ・当然、ここに出てきた事業につきましても、事務事業ごとのマネジメントシートを作成して、アウトカム指標、それから活動指標であるアウトプット指標という形で、アウトカムが達成してない場合は、活動が足りないのではないかとといったところの事後評価を毎年やっているところですので、それと併せましてこの地方創生の事業についても取り組んでまいりたいと思いますので、適宜そういった指標についても見直す必要性があればその辺を検討していきたいと考えています。

(日詰会長)

- ・ほかにどうでしょうか。

(山口委員)

- ・5ページの3番の外国人向け観光ルート開発事業の所で「外国人の調査分析を行い」という所があります。今回、10月の初めにホバートから学生と先生が焼津市に来られたのですけれども、実際外国の方々から意見等もいただいたので、調査のひとつに意見としてお伝えできたらなと思いました。
- ・学生だったのですけれども、今回ちょうどオータムフェストの時期に来ていたので、すごく喜んでフェスティバルにも参加していました。その後、行った所といえば、イオンであったりとか、あと、ABCマートという辺りで、オーストラリアはすごく物価が高くて、日本よりもかなり高く、お水も500ℓのペットボトルが450円だったりす

るくらい物価が高いまちなので、ABCマートの新作で1万ちょっとする靴も「安い」「安い」と言って2足くらい買って帰るくらいで、そういった物価の高い所の方々にとっては安く感じてもらえたので、ふだん私たちが使うような所ですけれども、意外とそういった所が喜ばれたというところです。

- あと、ホバートの先生に、今日はこういった会議があるという話をしたところ「港がすごくよかったよ」ということで、もっともっとフェスティバルをしたりとか、あとはレストランとかを作って、人の流れをもうちょっと港に向けてはどうかという意見をもらいました。

(日詰会長)

- ありがとうございます。市の方でも何かその辺のところはつかんでらっしゃるでしょうか。

(事務局)

- 先行型でやっています外国人向けの調査でございますが、主には東南アジア、特に中国とか、当市で教育旅行をやっています台湾とか、そのあたりの調査を始めるところなのですが、中国だけではなくてどんな方が来ているかというのを実態調査を行い、ターゲットとしては団体客、それから個人客という形でいろいろニーズがございますので、どの辺をターゲットに絞って、どの国をターゲットに絞っていくかという調査をこれから行い、専門業者から「こういったところが焼津の魅力で、こういった旅行が考えられますよ」というような提案をいただくような調査業務であります。
- そういった関係でまた県でも積極的に進めていますので、お知恵を拝借いたしまして今後も外国人客の誘致という形で取り組んでいきますので、また、オーストラリアもホバートと交流がございますし、できればそういう教育旅行も広げていければなという形で考えております。
- しばらくしましたら調査結果を基に、戦略で具体的なところを来年度以降の予算に反映していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(日詰会長)

- ほかにいかがでしょうか。

(川口委員)

- 先ほど質問させていただいたところの背景的なところで気になっていたところが、先ほどの説明でしていただいたということで、意欲的に非常に高い目標を設定して、今後取り組んでいくのですけれども、得てしてよくあるのですけれども、これだけ大きな計画を推進するときにはやはり民間の様々な関係の方々と一緒にやっていかな

きやいけない。

- でも、一緒にやっていくとなると、本当に大枠の中で連携をするという形になると、杞憂に終わるといいと思っていますが、全体の連携の形式的な会議の中で合意を取るのだけれど、実質動くときには事務局サイドのときには個別計画に縛られて、行政はたくさんの計画を持っていますので、庁内の事務レベルの調整とともに、今度は対外的な事務レベルの人たちと本当に緊密な連絡体制を取っていかないと、先ほどスピード感を持ってやってくださいねというお話があるように、その関係づくりを本当にしっかり構築しながら、大枠のところでもオーソライズする組織と、あと、事務レベルで機動的に動く組織をぜひ取っていただきたい。そこに相当、始まる時に気を遣って考えてもらいたいというところがあったものですから、この組織体系というところでピッと引っかかったのですけれども。
- このお話はやはり、大枠での連携がまず説明であったのですけれども、質疑の中で、事務レベルでしっかり連携を図りますというお話もあったので、そのところの視点も持ってみえるというところで安心したのですけれども、でも、いろいろな団体がいろいろな活動をしているので、そこの連携のあり方とこの連携のあり方は一体どこが違うのかとか、これは本当にどういうところでつながりを持ってやっていこうとしているのかというところを対外的に、これから連携を図るときにしっかり事務局サイドが認識をして、説明して、事務レベルの統制が図れるような体制を作っていくことがとても大事だと感じておりますので、そのところをぜひ留意してやっていただければと思います。

(日詰会長)

- ありがとうございます。事務局よろしいでしょうか。

(事務局)

- まさにそのとおりでございまして、大枠のところだけ結んで、本当はいろいろな問題を持って仕事をされているのは得てして事務レベルの方に多くて、我々もそういう問題の中で、いろいろな方と話をして、たとえばある団体から話を受けたものと、こちらの企業・団体から話を受けたものが、もしかしたら私がここで話を受けたことによってつながっていけば、うまく解決につながるものがあるのかもしれないというものもございます。
- ですので、全体で連携をしながら進めていくというのはそういう意味がございまして、いろいろな話を聞きながら、「じゃあ、こことここをつなげば、こういうことができる」「こういうことをやれば、この問題が解決できる」とか、そういったことを事務レベルでも普段から話をしながら、「どうだね？」みたいな話もできればいいかなと。
- そういう関係を作っていくのが理想で、そこを目指しておりますので、おっしゃっ

るとおり、細かく動いて、機動的に対応していきたいと思っております。

(日詰会長)

- なかなか大変なところがあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

(南條委員)

- 今お話があったように、我々も地域の金融機関として、いろいろなご意見を聞けるのはすごくいいことなのですね。学生さんも入ってまして、学生さんの意見を聞けるということは我々にとってあまりない機会ですから、ぜひこういうものを定期的に、このメンバーでなくてもいいのですけれど、市に対して、締結とかそういうのも大事なのでしょうけれども、どうして市をよくしていくかというのは、あらゆる階層の方とか業種の方が定期的にこういう会議を持った方がいいのではないかと感じています。
- 先ほど、これがスタートだよということでお話がありまして、まさしくそうだと思いますので、行政には、せつかくここまでこういう会議ができたので、やはり定期的に、こういう関係を設けて会議を開いたらいいのではないかと思います。
- 子育て支援の協賛事業者ということで、この前提案がありましたので、私どもも先週、県に対して子育て優待カード協賛店舗、一応全店舗申請をいたしました。
- こういうものがあれば我々もすぐ協力ができる体制が取れるものですから、ぜひ連絡とか会議を積極的にやっていきたいと思っております。

(日詰会長)

- 今、南條さんから最初に提案があった若い方々との定期的なミーティングというのでしょうか、意見交換があったらぜひまた。
- 特に、市長さんが若者との共創ということを言ってらっしゃるので、またご検討いただければと思います。

(山田委員)

- この会議の最初に、5年後の合計特殊出生率の目標を決めたと思うのですが、そのとき、現在は1.54、それを本当に高い目標に上げるのを提唱した者として、ただ、この戦略を立てるとき「今現在」は1.54なのですが、実際は1.28に落ちているということですので、それを2に上げるのは本当に並大抵のことではないと思うのです。
- この計画を立てるとき1.54に維持できればいいのかな、ではダメなのですが、総合戦略のこの計画を立てて、これが全部達成したら2.0になるのかなと、ちょっと心配な、だいぶ心配な部分があります。
- さっき田形委員がおっしゃったように、本当にスピード感を持って、かなりの努力

を要するという事だと思しますので、真剣に、スピード感を持って取り組んでいただきたいと思ひます。

(日詰会長)

- ・ほかにありますでしょうか。

(田形委員)

- ・すみません。誤解のないようにしていただければと思ひまして。
- ・先ほど要望としてはお伝えしたのですけれども、当然ながら行政だけでこれをやっていくものではない。ここにいらっしゃる委員も含めて、結局地域の問題としてこれがあるというところですので、行政にスピード感を持ってやっていただくという事はひいては、イコール民間としてそこができれば意味がないというところがあると思ひます。
- ・行政サイドでは当然ながら、バランスですとかリスクとかを考へながら判断をしていかざるを得ないというところはあろうかと思ひますので、その際にはぜひ、民間を利活用、うまく使っていただいて、やってもらうというようにところも含めてやっていただければ、いろいろな関係団体が一体になってやればスピード感を持ってできるのではないかと思ひて申し上げたつもりですので、一団体として我々も協力をさせていただけます。

(日詰会長)

- ・ほかにどうでしょうか。

(鈴木委員)

- ・川口さんと南條さんのお話しと関連するんですけれども、ちょっと抽象的な話になってしまつて申し訳ないのですが、この計画がすごく壮大なものというのを皆さんおっしゃって、私も感じるのですが、ご意見にもあつたように、ここに集まられている委員の方々同士がつながりを深めるだけでも大きい力かなというふうに思つたのですね。
- ・20代の大学生から見たら、皆さんここに來られていて、どういふ背景の方が來ているのだろう、肩書きですとか略歴等で分かる部分はあるわけですが、そうではなくて本当に具体的な、たとえば日々焼津での暮らしがどうであるかみたいなものが、もっと横でつながつたらいいなというか、個人的にはすごく嬉しく思ひますし、そういうところから、たとえば勝手に民間で何かできるぞという部分もあるかもしれないので、そういった柔軟な環境が焼津に出來ていて、ちょっと開かれた場所というか、そういう空気ができたらいいんじゃないのかなと、個人的にぼんやりとですが考へていました。

(日詰会長)

- ぜひ鈴木さんたちの方で何かそういう仕掛けを作っていただければいいかなと思いますけれども。多分、そういうツールをお持ちですからね、お2人とも。ぜひよろしくお願いしたいと思います。
- それでは、先ほど6ページで事務局から説明がありましたように、ここの場に就いてらっしゃる皆様の関係性がさらに強まって、この場でも一体として、さらにオール焼津という枠組みの中で、この戦略が実現できるよう、皆さんと力を合わせてやっていければと思います。
- いずれにしても、5年間で、平成31年度末で結果を求められるということになりますので、そこに向けてぜひ、スピード感という話もありましたけれども、着実に進んでいけるようにできればと思います。
- 次回は3月ということになりますので、その頃になりますと今年度事業の内容もそろそろ結果的なものが見えてきたりしますので、そういったところでも委員の皆様からいろいろとご意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。
- それでは、今日の議事は以上といたします。

(事務局)

- 6月から5回にわたりまして、多くの貴重なご意見をいただきまして、焼津未来創生総合戦略が出来ました。まことにありがとうございました。
- 今後は、この戦略の基本目標を実現していくため、より具体的な事業につきまして、関係する皆様と連携をしながらオール焼津で、スピード感を持って進めたいと思っております。
- 引き続き、戦略の推進につきまして皆様から引き続きご意見をいただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。
- なお、次回の会議、3月頃を予定しております。後日改めてご案内をいたしますので、よろしく願いいたします。
- 本日はありがとうございました。

以上